

頑張れ九里!

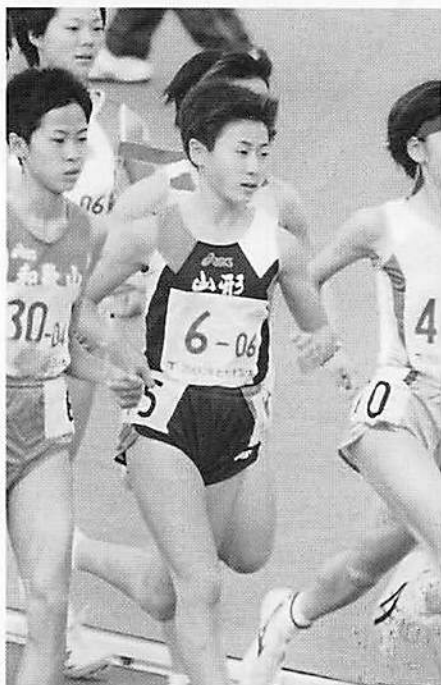
No.13
2001.3

九里学園高等学校部活動後援会報

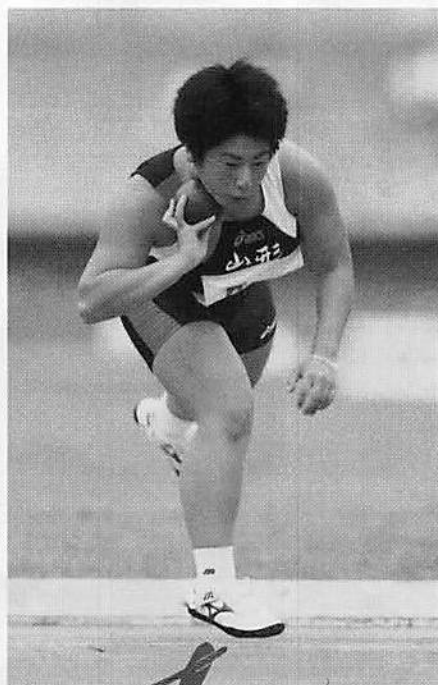
第55回国民体育大会 平成12年10月15日~19日 富山

3種目入賞

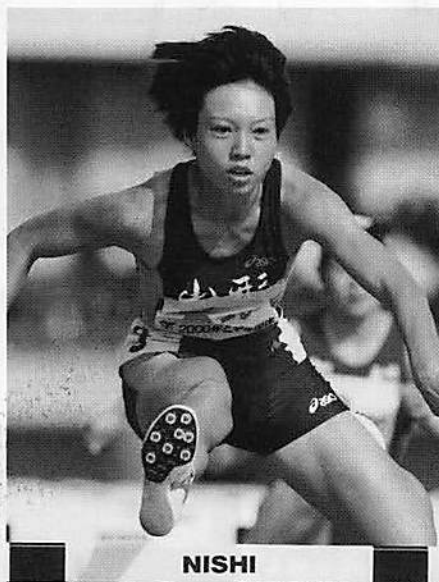
少年女子A1500m 8位入賞
長沼 史子 (3年 米沢1中)



少年女子A砲丸投 8位入賞
伊藤和代娘 (3年 赤湯中)



少年女子A100mハードル 7位入賞
木嶋 春香 (3年 赤湯中)



●発行/九里学園高等学校部活動後援会 米沢市門東町1-1-72
☎(0238) 22-0091 FAX (0238) 22-0092



輝かしい快挙で二〇〇一年を迎え 更なるチャレンジを!!

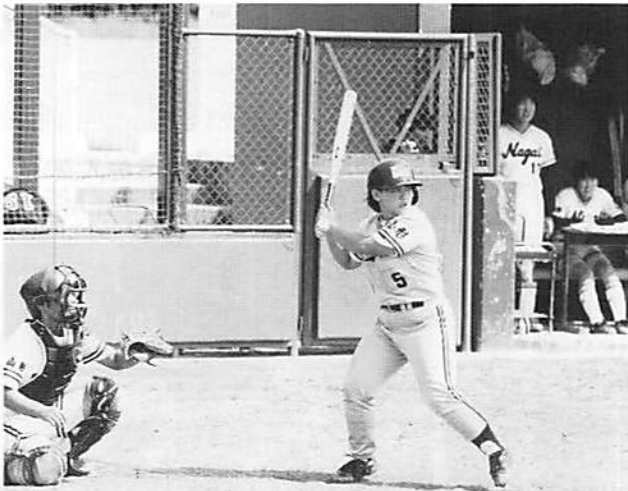


部活動後援会会長

鈴木芳昭

記録的な大雪で二十一世紀はスタート致しました。皆様も毎日の除雪で大変お疲れの事だったと思います。十二年度の卒業式の年は、九里学園高等学校の創立百周年、そして上杉鷹山生誕二五〇年祭という記念すべき年であり、更に、卒業生が女子生徒だけの最後の卒業式になる意義ある年でもあります。この冬の大雪も数年後、様々な意味で学園の歴史に加わり、少し年が過ぎてみれば想い出となって語り合えるのではないのでしょうか。さて十二年度の部活動をふり返ってみますと、陸上においてはインターハイで木嶋春香さんが七種競技で第八位、富山国体においても一〇〇MHで木嶋春香さんが第七位、一五〇〇Mで長沼史子さんが第八位、砲丸投げで伊藤和代娘さんが第八位という成績を挙げました。又県高校総体で陸上競技部が総合優勝、卓球では県高校新人大会にて団体優勝、男子バスケットボールでは二年目にし

て地区新人大会で優勝、県新人大会へスト8、更に新人大会で各種目に上位入賞というかつてない素晴らしい成績を挙げました。又文化面でも米沢市内のポポロでの第十四回書道作品展において、どの作品をみても力作ぞろい、出品数の多さにおどろき、生徒たちの力を大きく伸ばして下さった指導者の熱意と成果に感激致しました。創立百周年を迎えようとしている今、保護者の皆様方をはじめ又地域の企業経営者の皆様、多くの同窓生の方々の暖かい御理解・御支援をこれからの九里学園部活動発展と充実の為、又何よりも生徒達が大いに活躍できる様変らぬ御協力、御指導を心よりお願い申し上げます。



より高みをめざして



学校長

九里 廣志

「九里さん、野球部を作ったんだね」
遠くの地域で活躍する友人たちから、
新聞で本校野球部の活動のようすを知
ったとの連絡をたくさんいただいた。

また、地域のさまざまな集まりでも、野
球部の活躍が話題になった。今年の部
活動の中でも、実力以上の話題に事欠
かなかったのが新生野球部であった。

インターネットでも、高校野球に対
する情報は多い。できたての、海のもの
とも山のものとも判らない本校野球
部に対して、学校関係者以外の人が、
さまざまな勝手な講評をする。高校野球
ならではの不思議な世界を、今回あら
ためて見させてもらった。

一方、野球部に負けじと、各部もさ
まざまな場面で結果を出してくれた。
特に団体三人入賞の陸上競技部。これ
は、優秀な能力の生徒が偶然いたと言
うことではなく、三年生全員が県大会
で入賞を果たした底辺の広さと、生徒
たちが監督・コーチのご指導に常に真
摯に応えてきたことの結果であろうと
思う。春が来ると、今度は二十五年連

続インターハイ出場をかけた闘いが始
まる。冬の体育館での辛い練習が、大
きく花開き、結果に結びついて欲しい。

卓球部も数年ぶりで、県新人戦団体
優勝を勝ち取った。個人戦では上位に
食い込むことができなかったのに、団
体戦の作戦の妙であるのかは私にはわ
からない。追われる立場というプレッ
シャーを是非はね除けて欲しい。

創部二年目にして地区優勝を勝ち取
った男子バスケット部も、特筆すべき
であろう。メンバーも少なく、ただでさ
え厳しい練習を、選手たちはより一層
厳しく感じたろうと思うが、懸命に走
り込んだ結果が、県大会でも上位チー
ムに互角に戦う実力をつけたようだ。

文化系では、久しぶりに東北大会出
場を果たした音楽部。メンバーの意識
レベルの高さが、ケーブルテレビ（9
チャンネル）の部活動紹介でも感じ取
ることができた。部員が二年生中心と
いうこともあり、次年度も楽しみだ。
ご苦労さん、全てのクラブ員諸君！
そして来年、もっと頑張ろう！



クローズアップ!

硬式野球部

今年度を振り返って



監督
高橋 左和明

二期生男子を迎えた二〇〇〇年、静かに産声をあげた野球部でしたが、それはまさしく一昔アメリカ映画ではやった「がんばれベアーズ」を絵に描いたようなチームでした。しかし後援会の方々ははじめ多くの九里野球ファンに支えられ、初めての公式戦である夏の甲子園地区予選においては、初戦突破という歴史的一勝をあげることが出来ました。

それから約半年の月日が流れ、現在選手はニッセキハウス体育館、上杉スタジアム室内練習場、九里学園スポーツセンター、サンマリーナ玉庭と毎日バスに揺られながら練習場を求めて回っています。

体力的・肉体的にも随分たくましくなり、安心してこれから九里野球部の門をたたく後輩達の面倒を任せること

が出来ます。雪や施設の面で不利な点はありませんが、毎日練習できることに感謝し、来シーズンは更なる飛躍をしていきたいと思えます。これからもどうか暖かいご声援をよろしく願います。

主将としてがんばる



鈴木 学

今年度、この九里学園野球部ができ、あつという間に時間がすぎました。楽しい事、つらい事、色々なことがありました。一年目ということで自分自身に甘えなども多少はありましたが、今年からは違います。自分は三年生になり、最後の夏が来ます。それに、たくさんした後輩が入ってくるという事で、人数も増えチームをまとめる事がむずかしくなるかもしれませんが、主将として今年もがんばっていききたいです。そして、夏の大会では最高の成績を残せるようにがんばりたいです。

甲子園を目ざして



猪口 涼太

私は九里学園硬式野球部創部にあたり、高橋監督の考えにひかれ、新しい伝統を作りたいと考え入部しました。しかし高校野球はそう甘いものではありませんでした。この一年間たくさんの屈辱、たくさんさんの壁にぶち当たりました。夏の大会では初出場初勝利を納めました。しかし今年度は精神面の弱さ体力面の未熟さや自分への甘さがあ

りました。しかし来年度は、甘さなどを見せてられません。来年度は、一人一人が考えて行動し、チームの為にベストを尽くし、スキのない選手を目指したいです。そして甲子園の土を踏みたいですね。



卓球部

学校の部活動について

思うこと

顧問
大滝 勤

後援をいただいている会員の皆様方へまずこの書面にて厚く御礼申し上げます。おかげ様で卓球部も順調に成績を伸ばし県大会でも優勝できる実力をつけて参りました。後援会という組織ができる前は、大会参加費がかさみ、遠征して練習試合がやりたくても御父母の負担を考えるとなかなか思う様に行かず、十分に強化できませんでした。現在では、大会時の経済的負担が軽減された分、本当に充実したスケジュールを組むことが可能になりました。部活動運営において経済的なバックアップがあることほど心強いことはありません。今後ともよろしく



くお願いします。

さて、卓球部ですが今年度は県新人大会団体優勝や高村選手の全日本出場等輝かしい成績を残せましたが、私がおうれしかった試合はもう一つ「置賜地区冬季リーグ戦」の優勝です。この大会は、一年間団体戦に出場することができなかったメンバーで参加しました。レギュラー組は全員ギョラリで応援団です。十月のころから予定してましたのでみんな準備が整っていましたが、はつきり言って選手は不安だった様です。しかし、全勝優勝すること

ができました。応援と選手が一体となり大変盛り上がりました。学校の部活動には、色々なメンバーが活動しています。この一人一人の個性を上手く引き出すのが顧問の仕事だと思います。さて、全員の心が一つになった卓球部は、来年度もきつとすばらしいスタートがきれることでしょう。

一層のレベルアップを!!



遠藤 美紀

県新人戦で優勝できた時は、今まで練習してきたことは間違っていないなかつたと思うことができ、チームの団結力はさらに強くなったように感じることができました。しかし、その喜びもつかのま、東北選抜大会に出場したところ、県内とは違った迫力と気迫、そして何よりもレベルの差を感じさせられました。強い学校と対戦してみても実力的にも精神的にも足りないものがあり、この大会では自分達の問題点や課題も見つかりました。ぜひこの課題を克服して春にはインターハイに出場できるように毎日の練習をこれからがんばっていきます。

応援よろしくお願いします。

男子バスケットボール部

時と共に成長



工藤 基之

二年前に創部した我部は二十一世紀の幕開けと共にようやく成果が表われてきました。当初、十八名でスタートしたものの、健康上の理由や、個人的な理由で数名が退部し、現在十二名で活動しています。「部活とは何か」、人間関係に疑問を感じたり、技術的・精神的に悩み様々な思いを繰り返してきました。部内でトラブルがおきた時は当然結果はそれなりのものでした。





一年間は勝利から見離されたような時期でした。出場するたびに負け、勝つ喜びなど完全に忘れてしまっていたような気がします。「勝てそうで勝てないチーム」になっていました。そんな状況で三部リーグへ落ちました。この時に、先生と部員全員で今までの事、これからの事など真剣にそしてお互い自分の思いを話しました。この時が「九里学園男子バスケット部」の、ゼロからのスタートだったような気がします。

新年度になり練習量も増え、何度となく自分自身に負けそうになりました。た。そのたびにチーム全員の励ましやかけ声、プレーがうまくいった時の笑顔などに救われながら、毎日の練習をこなしてきました。県総体では残念な結果に終わってしまいましたが、くやしい気持ちではなく、何か自信がわいてきたような気がしました。そして、厳しい夏合宿が始まりました。暑さ、体力、自分との戦いは本当に辛いものでした。でも、それが結果として地区新人大会で出ました。「優勝」本当に嬉しかった。この時まで長かったような、短かったような気がしました。県

新人大会の結果は、自分達にとっては初のベスト8でした。この大会で我々の走るバスケットは、まだまだ通用しないということを感じました。そこで一人一人自主トレに励み、チーム力のアップを目指して練習してきました。今年のNHK杯に出場して少しずつではあるが、その成果が出たように感じました。さらに練習に励み、自分達の目標に向かって頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願いします。

ストリングス

学校の部活動について

思うこと



顧問
鍛冶迪雄

全国高等学校総合文化祭は静岡県で行なわれました。これは若い高校生で文化部の祭典ともいえるものです。展示部門、創作部門、発表部門などが、ありとあらゆるジャンルにわたり、日頃の活動の成果がここに結集したわけです。たとえば、日本伝統芸術のなかで、邦楽、郷土芸能や書道、美術、百人一首といった部門、また、合唱、吹奏楽、管弦楽、その他の器楽の演奏なども発表されました。全国都道府県を代表して参加しただけあってどの部門においても優れた発表でした。本県からも各部門に参加したわけですが私たちは器楽管弦楽部門に参加し演奏をしてまいりました。演奏曲目は「ドボルザーク作曲の交響曲第九番『新世界より』」第一楽章でした。ドボルザークは国民楽派を代表する作曲家のひとりで、この曲は技術的にも大変難しく、特にヴァイオリンの演奏に高度なテクニックが要求されます。また管弦楽の音が多

く澄んだ美しい響きが求められます。前年度に楽譜を渡され、各高校で譜面をさらい、五月〜七月に数回の地区ごと練習会と合同練習会、それに合同合宿を行ない演奏技術と音楽の高さを目指しました。国民楽派のドボルザークの曲は祖国の土の匂いのする曲で、指揮者の意図することになかなか近づけず苦労しました。各高校でそれぞれ練習をしているわけですが七十名程の人数が集まるとの曲づくりは大変でした。落ち込んだり、発破をかけられたりしながらようやく曲らしくなり当日の演奏にこぎつけました。出来映えは「まあまあ」でした。四国、中国地方のオーケストラや長野・埼玉県のオーケストラはとても素晴らしく、一高校で七十名編成のオーケストラで参加した高校もありました。ブラームスやチャイコフスキーの難曲をみごとに演奏し、聴衆を魅了しました。オーケストラは特に弦楽器が難しく個人的にしっかりしたテクニックを身につけなければなりません。山形県は他県に比べ弦楽器をする生徒は少なく、また指導者も少ないのが残念です。大舞台での演奏経験と他高校のすばらしい演奏を聴いてきました。これからの活動に大きくプラスになると思います。

バレーボール部

「真の強さ」を求めて

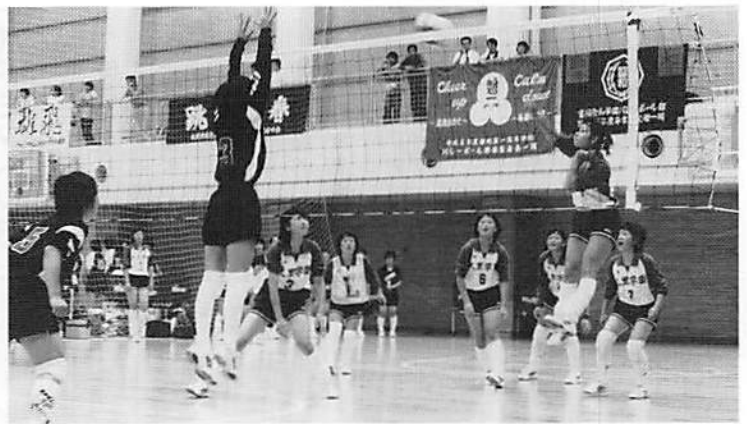


監督
奥山光彦

九里学園バレー部は、かつては県を制覇するなどの大変伝統のある部でしたが、私が九里学園へ赴任した時は引退まじかの三年生が四人だけで、廃部の危機からのスタートでした。現在は部員数二十五人にまで増えております。

現在の私たちのチームは、地区では上位に上がることができましたが、「真の強さ」をもっているチームではありません。まだまだ技術に頼り過ぎているチームです。技術だけでは勝てないと生徒たちが気づいたときはじめて「真の強い」チームができ、もっと大きな大会で活躍できてると思われ

ます。生徒もとてもやる気があり、私自身も生徒全員を本当に誇れるメンバーと思っています。だからこそバレーボールを通して「真の強さ」を見つけられるように教えていき、また私自身も生徒とともに学んでいくことが今後のわたしの使命であると考えています。



サッカー部

重くのしかかる三年目



監督
佐藤秀人

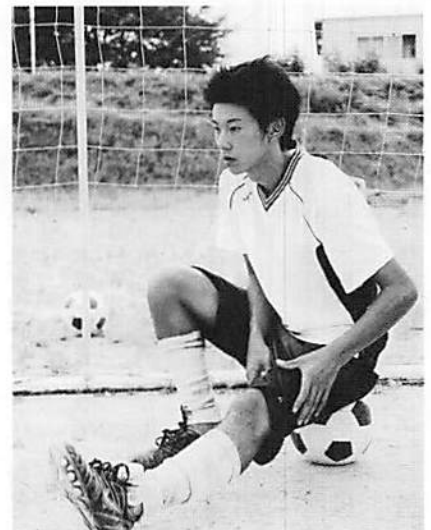
とうとう三年目を迎えました。初めて現在の二年生と出会い大きな希望を胸に臨んだ一年目、部員数が十一名、常に河川敷のグラウンドは半分が空いていた。「先生、来年は全面使えますよ

ね」「大丈夫だ！ オレは出来る限り生徒を引っ張って来る、だからお前らは結果を残せ」

正直焦っていた。すぐに結果を出せるほどサッカーは甘くない。(勿論どんなスポーツにおいてもすぐに結果を出せるわけではない。が、出せないわけではない。) 良い結果を残し、魅力的なサッカーを展開すること、

これが今の中学生が高校サッカーに望んでいることです。それを知りつつ、厳しい現状を目の当たりにして一年が終わった。

監督である私の力量不足が露わになった結果を受けて二年目がスタートした。現在の部員数十六名(含 マネージャー) 置賜地区十一チーム中六位、と満足のいく状況ではない。このメンバーに今年新たな戦力が加わり三学年が揃い《置賜に敵なし》を達成すべく



勝負に挑みます。いつもサッカー部について書いてしまっているので今回は部員について書きたいと思います。

サッカー部員は数学の研究室に入るときは「失礼します」と言って入ります。サッカー部員は部活の時間に遅れません。サッカー部員は休むときは私に連絡をします。

サッカー部員は挨拶で部活を始め挨拶で終わります。サッカー部員は遠征等外部に出たときはその場の関係者に挨拶が出来るようになりました。サッカー部員は成長しました。

こいつらと優勝したい。



国民体育大会 地区予選

陸上部

A(2、3年)の部

100M

- 1位 木嶋 春香(3年) 赤湯
- 2位 堀江 真由(2年) 米1
- 3位 安部 美澄(3年) 長北

400M

- 1位 高橋 香織(3年) 米2

1500M

- 1位 長沼 史子(3年) 米1
- 2位 米野由香里(3年) 飯豊
- 3位 小杉 奈美(2年) 長南

100MH

- 1位 木嶋 春香(3年) 赤湯
- 2位 須藤 美幸(2年) 赤湯
- 3位 安部明日香(3年) 上郷

400MH

- 2位 須藤 美幸(2年) 赤湯
- 3位 高橋 香織(3年) 米2

三段跳

- 2位 堀江 真由(2年) 米1
- 3位 安部 美澄(3年) 長北

砲丸投

- 1位 伊藤和代娘(3年) 赤湯
- 2位 高橋ちひろ(2年) 叶水
- 3位 長岡 里美(2年) 飯豊

B(1年生)の部

- 100M
- 1位 山内 愛(1年) 米4
- 2位 酒井 珠美(1年) 小国
- 3位 横野 友紀(1年) 玉庭
- 400M
- 2位 横野 友紀(1年) 玉庭
- 800M
- 3位 鈴木 美樹(1年) 長南

- 走巾跳
- 3位 酒井 珠美(1年) 小国
- 砲丸投
- 1位 平 江理子(1年) 川2
- 100MH
- 1位 山内 愛(1年) 米4
- A・B共通
- 3000M
- 1位 佐藤 美穂(2年) 飯豊
- 5000MW
- 1位 横山 香織(3年) 白鷹東
- 2位 近藤佳代子(3年) 赤湯
- 3位 鹿俣枝里子(3年) 米1

槍投

- 1位 伊藤和代娘(3年) 赤湯
- 2位 安部明日香(3年) 上郷
- 3位 高橋ちひろ(2年) 叶水

バドミントン部

少年女子シングルス

- 優勝 泉谷 京子
- 2位 安部真由美

ベスト8

- 橋本 里佳
- 片平 真伊

少年女子ダブルス

- 優勝 片平 真伊・橋本 里佳
- 3位 泉谷 京子・安部真由美

ベスト8

- 小形あゆみ・手塚 香

陸上部

A(2、3年)の部

100M

- 2位 堀江 真由(2年) 米1
- 4位 木嶋 春香(3年) 赤湯
- 400M

国民体育大会 県予選

バドミントン部

少年女子シングルス

- 橋本 1-2 井上(山商)
- 泉谷 0-2 本間(鶴工)
- 安部 0-2 八鍬(新南)

砲丸投

- 1位 安部明日香(3年) 上郷

三段跳

- 1位 横山 香織(3年) 白鷹東
- 2位 近藤佳代子(3年) 赤湯
- 3位 鹿俣枝里子(3年) 米1

B(1年生)の部

100M

- 1位 山内 愛(1年) 米4
- 5位 酒井 珠美(1年) 小国

100MH

- 1位 山内 愛(1年) 米4

砲丸投

- 1位 平 江理子(1年) 川2

A・B共通

- 400MH
- 2位 佐藤 幸恵(3年) 赤湯
- 4位 須藤 美幸(2年) 赤湯
- 5位 高橋 香織(3年) 米2

山形県選手権大会

陸上部

東北三二国体出場者

200M

- 2位 堀江 真由(2年) 米1

400M

- 5位 高橋 香織(3年) 米2

800M

- 1位 長沼 史子(3年) 米1

1500M

- 1位 長沼 史子(3年) 米1
- 5位 米野由香里(3年) 飯豊

100MH

- 2位 木嶋 春香(3年) 赤湯
- 3位 横山 香織(3年) 白鷹東
- 1600MR
- 1位 高橋 香織・木嶋 春香

走巾跳

- 3位 堀江 真由(2年) 米1
- 4位 木嶋 春香(3年) 赤湯

砲丸投

- 1位 伊藤和代娘(3年) 赤湯

少年女子ダブルス

- 片平 2-0 辻(羽黒)
- 片平 0-2 松田(城北女子)
- 小形・手塚 0-2
- 松田・佐々木(城北)
- 泉谷・安部 2-0
- 土門・池田(酒田)
- 泉谷・安部 0-2
- 富樫・八鍬(新南)
- 片平・橋本 2-0
- 庄司・寒河江(鶴中央)
- 片平・橋本 0-2
- 武田・瀧口(山商)

- 3位 高橋ちひろ (2年) 叶水
 円盤投
 1位 伊藤和代娘 (3年) 赤湯
 3位 高橋ちひろ (2年) 叶水
- 国体B種目
 100M
 6位 酒井 珠美 (1年) 小国
 7位 山内 愛 (1年) 米4
 100MH
 2位 山内 愛 (1年) 米4
 走巾跳
 6位 酒井 珠美 (1年) 小国
 砲丸投
 2位 平 江理子 (1年) 川2

東北総合体育大会

- 200M
 8位 堀江 真由 (2年) 米1
 800M
 2位 長沼 史子 (3年) 米1
 100MH
 8位 木嶋 春香 (3年) 赤湯
 砲丸投
 2位 伊藤和代娘 (3年) 赤湯
 8位 高橋ちひろ (2年) 叶水
 1600MR
 4位 高橋 香織 (3年) 米2
 堀江 真由 (2年) 米1
 安部 美澄 (3年) 長北
 佐藤 幸恵 (3年) 赤湯

国民体育大会

- 少年女子
 A 1500M
 8位 長沼 史子 (3年) 米1
 A 100MH
 7位 木嶋 春香 (3年) 赤湯

- A 砲丸投
 8位 伊藤和代娘 (3年) 赤湯
 B 100M
 出場 山内 愛 (1年) 米4

高校総体 地区新人大会

- 男子バスケットボール部
 2回戦 九里 82対78 長井工業
 準決勝 九里 83対55 南陽
 決勝 九里 91対53 長井

- 女子バスケットボール部
 1回戦 九里 77対44 南陽
 準決勝 九里 56対42 長井
 決勝 九里 61対71 米沢商業

- 参加選手
 長澤美香子 (2年・米4) 鈴木亜沙美 (2年・高島4) 三ヶ山和加奈 (2年・赤湯) 加藤恵美 (2年・吉野) 関千恵子 (2年・赤湯) 高橋春菜 (2年・赤湯) 小松真理 (2年・中川) 吉田頼子 (2年・米2) 佐々木美幸 (1年・漆山) 清水美智子 (1年・赤湯) 長島亜衣 (1年・赤湯)

バレーボール部

- 1回戦 九里 2対0 置賜農業

- 2回戦 九里 2対0 米沢東
 準決勝 九里 1対2 米沢商業
- 参加選手
 山田ゆかり (1年・米1) 井上奈月 (1年・川1) 後藤由佳 (2年・梨郷) 上地美里 (1年・高島3) 菅原あゆ美 (2年・白鷹西) 戸屋愛子 (2年・米5) 長澤江梨子 (1年・米5) 渡邊鈴菜 (1年・米5) 後藤可奈子 (2年・米6) 小林広美 (1年・米1) 久保田沙織 (1年・米2) 加藤恵 (1年・米2)

バドミントン部

- 男子
 団体戦 九里 4対1 長井工
 九里 1対4 長井
- (メンバー)
 足立隆浩 (2年・米4) 稲葉尚之 (2年・米2) 新藤学 (2年・宮内) 菊地努 (1年・長北) 手塚敏春 (1年・長北) 大類信一 (1年・米6)

女子

- 個人ダブルス女子
 鹿間・情野 2対1 米沢東
 " " 2対1 荒砥
 " " 2対0 長井
 " " 0対2 米沢東

男子テニス部

- 団体 2位
 1回戦 九里 2対1 長井工
 決勝 九里 2対3 米沢中央
- (団体メンバー)
 遠藤慎介 (1年・米3) 渡部裕史 (1年・米2) 土屋正輝 (1年・米1)

- シングルス
 優勝 渡部 裕史 (1年・米2)
 個人ダブルス
 優勝 渡部・土屋組

女子テニス部

- 団体 優勝
 (団体メンバー)
 安部園子 (2年・米5) 佐藤まや (2年・米2) 赤木由香 (2年・米1) 高橋宏美 (2年・高島4) 南尚美 (1年・米2) 寺島智美 (1年・長井南) 加藤礼子 (1年・川1)
- 個人戦シングルス
 3位 安部 園子 (2年・米5)
 3位 佐藤 まや (2年・米2)
 ダブルス
 2位 安部・佐藤組
 3位 高橋・寺島組
 3位 赤木・加藤組

ソフトボール部

- 九里 3対4 南陽
 九里 4対12 米沢東
 九里 14対0 長井
 九里 8対2 荒砥 (5回コールド)
 結果 第3位
- 参加選手
 猪口佳織 (2年・南原) 遠藤美幸 (2年・米3) 横澤裕子 (2年・飯豊) 吉田美生 (2年・高島2) 佐藤さやか (2年・上郷) 萬世里美 (2年・南原) 中川瞳 (1年・米2) 金子舞 (1年・米1) 加藤恵子 (1年・川1) 井澤美紅 (1年・米3) 萬世知美 (1年・南原) 白井まゆみ (1年・米1) 佐藤亜弥 (1年・米2)

卓球部



団体戦 優勝

準決勝 九里 3対0 米沢工業
決勝 九里 3対0 米沢東

(団体メンバー)

遠藤美紀(2年・川1) 高村美知子(2年・長南) 奥村美和子(2年・川1) 青木朋恵(1年・川1) 佐藤真由美(1年・川1) 斎藤希(1年・川1) 板垣真希子(1年・米2) シングルス

1位 青木 朋恵(1年 川1)
2位 遠藤 美紀(2年 川1)
3位 高村美知子(2年 長南)
3位 佐藤真由美(1年 川1)
ベスト8 斎藤 希(1年 川1) 板垣真希子(1年 米2) 奥村美和子(2年・川1)

県大会出場

秋葉 祐美(2年 南原)
山口真奈美(2年 南原)
高橋千亜紀(2年 飯豊)

剣道部



団体 3位

予選リーグ 二勝一敗
準決勝 九里 1対2 米沢東

(団体メンバー)

安部ひろみ(2年・上郷) 竹田寿子(2年・米5) 長嶋美奈(2年・赤湯) 郷野愛(1年・米1) 寒河江智美(2年・米2) 我妻里美(1年・米1) 小関由佳(1年・南原)

女子個人

優勝 寒河江智美(2年・米2)

弓道部



個人女子 1位(8射5中)

長谷川朋美(2年・米6)
団体女子 3位(40射14中)

(団体メンバー)

長谷川朋美(2年・米6) 岡崎望美(1年・南原) 村越友紀(3年・米1) 情野千佳(2年・高島4) 高橋沙希子(2年・米1)

サッカー部



九里 1対1 米沢中央
九里 7対0 高島
九里 0対1 南陽
結果 第6位

(参加選手)

佐藤雅俊(2年・米2) 志賀勇作(2年・米5) 猪口朋彦(2年・米2) 白木亮太(2年・米1) 山田瞬(2年・米5) 小林雄介(2年・米1) 高橋正樹(1年・南原) 佐藤祐治(1年・米1) 佐藤雅由(1年・米1) 中込弘春(1年・米4) 工藤健一郎(1年・米6)

県新人大会

陸上部



100M
2位 堀江 真由(2年 米1)
7位 山内 愛(1年 米4)
8位 酒井 珠美(1年 小国)
200M
1位 堀江 真由(2年 米1)
6位 横野 友紀(1年 玉庭)

800M

4位 小杉 奈美(2年 長南)
7位 佐藤 美穂(2年 飯豊)

1500M
2位 小杉 奈美(2年 長南)
7位 佐藤 美穂(2年 飯豊)

1000M
4位 山内 愛(1年 米4)
6位 須藤 美幸(2年 赤湯)

400MH
2位 須藤 美幸(2年 赤湯)
4位 古川 裕子(2年 飯豊)

3000MW
5位 高橋真都香(1年 米3)
6位 長澤 由美(1年 米1)

走巾跳
8位 後藤 美佳(2年 飯豊)

砲丸投
1位 高橋ちひろ(2年 叶水)
4位 長岡 里美(2年 飯豊)

円盤投
5位 平江理子(1年 川2)
2位 長岡 里美(2年 飯豊)

3位 高橋ちひろ(2年 叶水)
4位 桑原 恵(2年 米2)

槍投
3位 佐藤 歩美(2年 飯豊)

400MR
1位 酒井 珠美・山内 愛
3位 古川 裕子・山内 愛

1600MR
須藤 美幸・堀江 真由

男子バスケットボール部

1回戦 九里 101107対12776 鶴岡中央
2回戦 九里 山形南
結果 ベスト8

女子バスケットボール部



1回戦 九里 46対70 山辺

バレーボール部



1回戦 九里 0対2 山形商業

バドミントン部



男子 団体戦 1回戦 九里 0対3 鶴岡工業

女子 個人ダブルス 鹿間・情野組 0対2 佐藤・須藤(山形商業)

(メンバー) 鹿間 幸恵(1年・米2) 情野真由美(2年・米2)

男子テニス部



団体 1回戦 九里 4対1 東根工業
2回戦 九里 0対3 山本学園

結果 ベスト8

女子テニス部



団体 1回戦 九里 5対0 鶴岡南
2回戦 九里 3対1 日大山形
3回戦 九里 0対3 山形西
3位決定戦 九里 1対3 酒田東

ソフトボール部

1回戦 九里 4対6 城北女子



卓球部

団体戦

1回戦 九里 3対0 山形東
 2回戦 九里 3対1 谷地
 3回戦 九里 3対2 城北女子
 決勝戦 九里 3対2 山形学院
 結果 優勝



剣道部

団体女子予選リーグ

九里 3対1 鶴岡北
 九里 1対3 楯岡
 九里 1対3 日大山形
 女子個人



弓道部

団体女子(40射13中)

8日の決勝に残れず
 (団体メンバー)
 長谷川朋美(2年・米6) 岡崎望美
 (1年・南原) 村越友紀(3年・米
 1) 情野千佳(2年・高島4) 高橋
 沙希子(2年・米1) 情野美智子
 (1年・米5)



ハンドボール部

九里 0 (0-16-18) 34 山本学園
 (参加選手)
 加藤ひとみ(1年・米3) 赤木幸枝
 (1年・米2) 伊藤沙弥香(1年・
 米3) 加藤亜紀(1年・米5) 山口
 明子(1年・米2) 大森翠(1年・
 米3) 山本友梨子(1年・米3) 高
 橋千佳(1年・中津川) 海野薫(1
 年・米5)



東北新人陸上大会

陸上部

200M
 7位 堀江 真由(2年 米1)
 800M
 7位 小杉 奈美(2年 長南)
 1500M
 5位 小杉 奈美(2年 長南)
 400MH
 6位 須藤 美幸(2年 赤湯)
 砲丸投
 6位 高橋ちひろ(2年 叶水)
 円盤投
 4位 長岡 里美(2年 飯豊)
 400MR
 5位 酒井 珠美・山内 愛
 横野 友紀・堀江 真由
 1600MR
 8位 古川 裕子・山内 愛
 須藤 美幸・堀江 真由



東北私立学校大会

バレーボール部

予選リーグ

九里 2対0 八戸工大二(青森)
 九里 2対1 磐城第一(福島)
 結果 ブロック1位



山形県ハンドボール選手権大会 兼東根カップ選手権大会

九里 18対34 日大山形

第24回NHK杯山形県高等学校 バスケットボール新人選抜大会

1回戦 九里 71対97 鶴岡工業

置賜地区一年生大会

バドミントン部

女子団体 優勝
個人シングルス

1位 鹿間 幸恵(1年 米2)
 2位 鈴木 博子(1年 米6)



置賜地区冬季大会

男子バスケットボール部

九里 67対56 南陽
 九里 76対70 米沢東
 九里 94対77 長井
 結果 優勝



女子バスケットボール部

九里 63対53 長井
 九里 51対42 米沢東
 九里 63対72 米沢商業
 結果 第2位



県ジュニアテニス大会

5位 遠藤 慎介(1年 米3)
 結果 東北大会出場

NHK山形県コンクール

音楽部

銀賞
 (参加メンバー)
 柳町美佳(3年・米3) 時田秋希(3
 年・赤湯) 松尾みゆき(3年・赤湯)
 石川倫子(3年・米1) 佐藤美香(3
 年・川1) 荒井美菜(3年・米4) 関
 根可織(2年・米5) 渡部知佳(2年
 ・飯豊) 松尾美香(2年・南原) 佐藤
 弥生(2年・長北) 平奈津美(2年・
 玉庭) 佐藤葵(2年・上郷) 近野知佳
 子(2年・高4) 高橋朋美(2年・南
 原) 金子幸恵(1年・川1) 猪野直
 美(1年・高4) 遠藤早紀(1年・高
 4) 安部愛(1年・沖郷) 鈴木由美
 (1年・米4) 勝見美雪(1年・高
 4) 佐藤麻衣子(1年・米4)



NHK東北コンクール

音楽部

奨励賞



剣道部

2年女子個人 3位 寒河江智美



平成12年度 部活動後援会法人会員一覧

- (有)平田自動車工業
- 中條齒科医院
- 扇屋旅館
- 平和軒
- 城南産業
- 補助
- (有)色部組
- 本多建設
- 正絹羽毛ふとん
- エー・ビー・エム(株)
- 岸製麺(有)
- べにはな
- 小泉創芸(株)
- 宮坂鯉店
- 小林製氷
- 千代田電工
- 伊藤齒科医院
- 丸 定
- 吾妻自動車学校
- (株)川島印刷
- 羽 生
- 松が岬自動車学校
- 滝ペン塗装
- (株)松本時計店
- (有)鳥勝牛肉店
- 平山孫兵衛商店
- 今井健次(商店)
- 麻屋ふとん店
- (株)ラビィ
- 花のえちごや
- (株)嵐田絹織
- 黒田商店
- 新田機業
- エルム・アベ
- 加藤真琴
- 地主左官工業(株)
- (株)スズデン
- 山田電気管理事務所
- 米沢ツーリストサービス
- 青葉堂印刷
- (株)佐藤建材
- 山形ニッタン米沢営業所
- 安全自動車
- 村正運輸
- バルコモード
- ヒューマンポテンシャル研究所
- (有)タカモク
- 加東産業不動産
- 酒井塗装所
- 蓮沼左官工業
- 井上板金工業所
- インテリア雅
- ローソン本町2丁目店
- 東北新日軽(株)
- 森谷電工(有)
- 土木施工山口
- キョウドウ印刷
- (有)金内酒店
- 小松組
- 小形司法書士
- パナックNS
- 齋藤俊一税理士事務所
- 戸部電材(株)米沢(営)
- 有限会社厚生社
- やまや総建永橋組
- (有)豊川興産
- (有)広伸電機
- ニノミヤ電機(株)
- (有)ヤマザキレンタル
- (有)石井物産
- 蕎醉庵
- (株)マインドプランニング
- 長寿館療院
- 足立金物店
- 桑原豆腐製造
- 特急寿司
- かど久
- (株)カクダイ本店
- ホテルベネックス
- 米沢アルミ工業
- (有)タス
- (株)小池商店
- イトウ防水
- 神田源一建築設計工房
- (株)ヤマケン
- ひらく縫製
- (有)中央電気
- (株)黒金建設
- 舟山 弘
- (有)平山フーズサービス
- コカコーラ米沢営業所
- (株)伊藤園
- 笹生齒科医院
- 共立建設(株)
- 大丸石油
- (株)佐藤防災
- (株)北宣
- ヤリミズ自動車
- 大峽齒科医院
- 鈴木木工所
- 海鮮食堂みどり
- 東南電材
- 伊藤豊店
- 東北日新(株)
- ヤマザキ建設
- 後藤接骨院
- ダルマ寿司
- 常信庵
- 日吉設備工業
- あやめそば舟越
- 東南クリーニングセンター
- 岩崎石材店
- 八文字屋長井店
- 土屋農機店
- 大森ネオン
- 肉の加藤
- 佐米染色
- (株)けんなん
- (有)佐藤建設
- (有)荒井木材店



九里学園高等学校 体育文化活動後援会 会員募集

本会は九里学園高等学校における教育活動の中で重要な位置を占める体育・文化の部活動を、経済的に援助をする会です。会費は次の通りです。

- 特別会員
年会費 一〇 三、〇〇〇円
(〇数は問わず)
- 法人会費
年会費 一〇 一〇、〇〇〇円
(〇数は問わず)

新規会員を募集しております。

お問い合わせは
後援会事務局(担当/吉田達)までご連絡下さい。

TEL(0118)21-0091
FAX(0118)21-0092

